

熊建労5400人の力を合わせた

熊本地震救援ニュース

2016年5月10日(火)

第15号

発行 村上久義教宣部長
TEL096-283-7811

中建国保より理事長が激励に来熊 県本部被災の事態に支援の工夫を約束



中建国保の村上理事長から義援金を受取る浪瀬副委員長



中建理事会に支援の要望書を手渡す林 中建組合会議員



県本部の入居する労働会館の被災状況を確認する理事長と常務理事



中建国保5月理事会へ次の支援を要望しました

- (1) 自治体のり災証明交付が遅れているため、県支部証明で保険料の減免申請を受付
- (2) 東京への保険料の納付期限に猶予期間をもうける
- (3) 県本部の事務所機能回復のため費用面の支援
- (4) 仲間へ支障が出ないように、東京本部との専用線（オンライン）を回復・整備する
- (5) 提出期限のせまった提出物について、期限の延長と可能な範囲での対応とする

1、被害状況（該当支部）

5/9 18:00 現在

	菊鹿	阿蘇	東部	西部	宇城	計
ケガ	0	0	7	6	10	23
家全壊	1	1	64	11	6	83
半壊 瓦・一部	9		151	27	138	325
地盤沈下 液状化		1 (川沿い)				1
土石流避難		4				4

(1) 被災地の状況

- 大雨の天気予報をうけて、厚手、大判のブルーシートを追加で取りに来られる仲間がひっきりなし
屋根や壁を薄手のブルーシートで簡易にかぶせていたところ、雨漏りや浸水で室内に二次被害が発生
- 雨による土砂災害の危険で地域や町全体に避難勧告・避難指示が出ている
(地震の住宅被害は一部損壊だったが、地震で亀裂の入った堤防や裏山が崩落・崩壊する危険がでている)
- まだ水がでないため、洗濯や風呂、料理ができない。
「食べものをもらいに来ました」と温めるだけの食品や缶詰などの支援物資を取りに来られます。
- ライフラインが復旧した仲間も3回目の大きな地震を恐れて、揚げものや本格的な料理を怖くてできないと。

(2) 被災した仲間の要望（また地域住民からの要望）

- プレハブを譲ってくれる方を探しています。
※有料でも譲れる方は、各支部まで連絡ください。
- 使い捨てのトイレがほしい（まだ水が流せず、一部地域の方は長期的になりそう）

2、支援活動

(1) 支援

- 東京土建中央執行委員のみなさん、東京土建国保のみなさん、東京土建葛飾支部、
中建国保、東京都連より義援金をいただきました。
- 中建国保より3人が来熊し、益城町と労働会館（県支部事務所）を視察。

(2) 全国からの激励・支援（予定）

- 5月14・15日に全京都建築労働組合より、2～3人がボランティア参加予定
- 5月21・22日に福岡県建設労働組合主婦の会による被災地炊き出し

<何か困ったことがあれば熊建労まで連絡を>

- ・熊建労 東部支部 熊本市東区健軍 2-10-11 TEL096-365-6626
- ・熊建労 西部支部 熊本市西区春日 7-1206-14 TEL096-283-7811
- ・熊建労 宇城支部 宇土市花園町 205 番 1 TEL0964-22-1904

屋根瓦補修等で、転落事故が起きています。必ず労災加入を！

復興に向けた木造仮設住宅の対応を 全建総連と熊建労で確認

- 建築大工さんで従事できる方の募集を行います。希望者は各支部まで。
- 日当は26,000円で、飛び飛びの就労でも構いません。
- 就労予定は、まだ具体的になっていません（詳細は確認でき次第おしらせします）が、案内を先にしています。就労に当たっては、組合で説明会を行う予定です。